

やまもり通信 vol.83

入園、入学、入社、新学期・・・
4月はいろいろな場面のスタートの時。
新しい一歩を踏み出しましょう！



【加子母の風景】山も里も淡い色合いの4月。暖かくなり心もうきうきしてきます。

こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

【彩都やまもり 4月5日 彩輝館ギャラリー展示情報】

「ローカル線で岐阜を旅する」を開催します。

【期間】4月5日(水)～5月29日(月)

列車の旅の醍醐味は何といっても車窓からの景色。暖かな日差しとさわやかな風を感じながら、ゆっくりと流れゆくのかな景色は眺めているだけで癒されるもの。今回は岐阜県内を走る、養老鉄道、樽見鉄道、長良川鉄道、明知鉄道 4つのローカル線の魅力を展示・紹介します。



【4月のイベント情報】



『やまもり市』を開催します。

岐阜名物の朴葉寿司や大福など、スタッフ一押し、岐阜の特産品を数量限定で販売します。今月は1日限りの開催です。

【日時】4月1日(土) 9時半～15時頃 ※売り切れ次第終了

【場所】彩都やまもり敷地内

彩都やまもりの
これぞない?



ひのきの丸型まな板

ひのきの端材でできたまな板に丸いタイプが誕生しました！お客様からの要望を受け大工さんが試しに作ってくれたもので、丸い形がとってもキュート。

切った野菜を移動しなくても、まな板をくるくる回して空いたスペースで切ることもできます。また丸いケーキやピザなどは切ってそのまま食卓に出すこともできて便利。

自立するタイプは、キッチン立てかけても意外と場所をとらない優れものです。

料理が楽しくなりそうですね。

一つひとつ手作りのため大きさもまちまち、数量限定です。気になる方はお早めどうぞ！

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、
彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

彩都やまもり ひとりと日記

大好評の「変わり雛展」

彩都やまもりでは毎年2月中旬ごろから3月にかけて岐阜のおひな飾りを展示、ひな祭りイベントを紹介しています。

関西ではあまり見慣れないお雛様が見れるとあって毎年大人気。

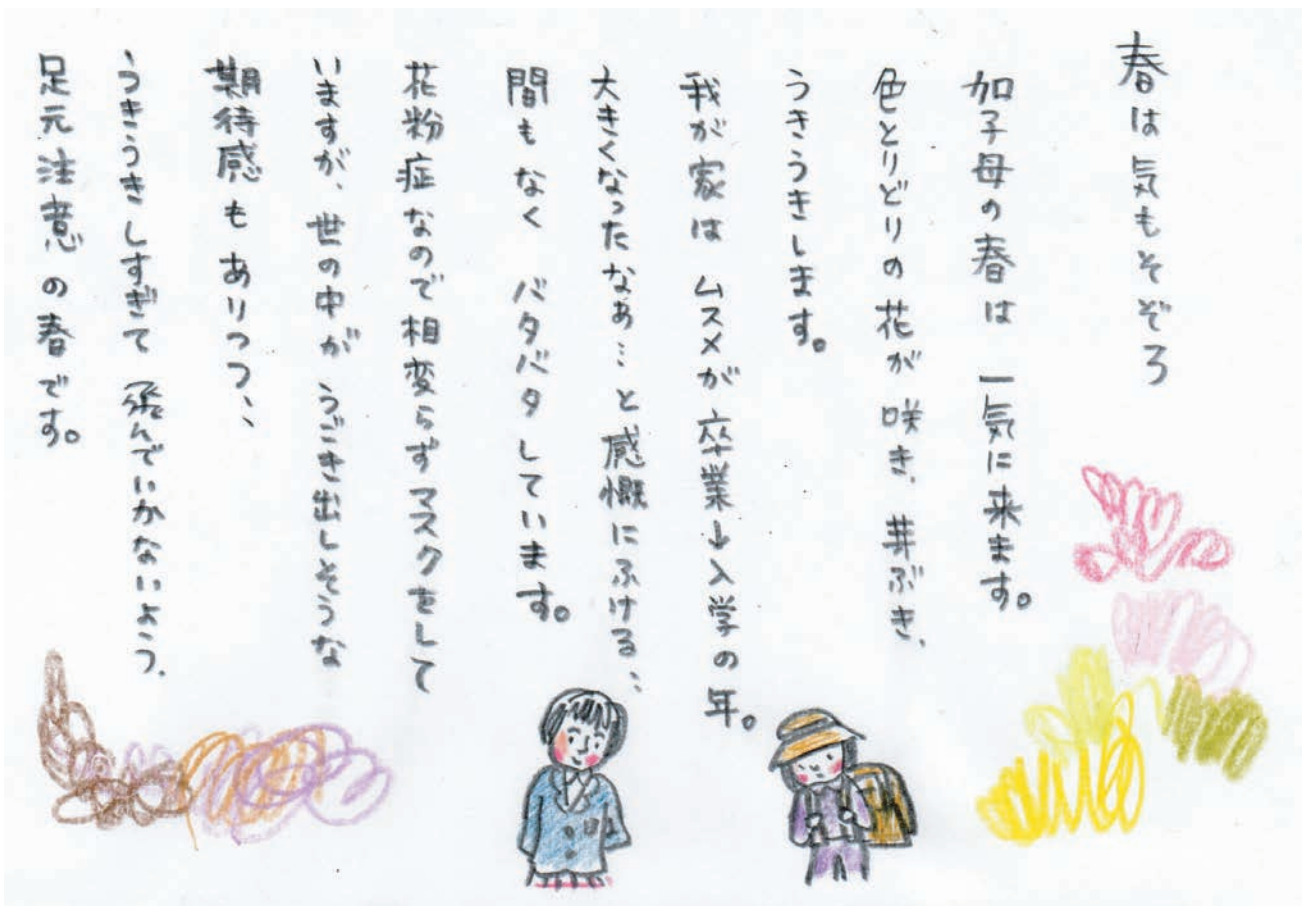
併設のカフェを利用するお客様はもちろん、毎年の開催を楽しみにされている『常連』様もおられます。

最近SNSで知ってご来場されるお客様も増えました。つい先日素敵な着物を着た親子連れが写真を撮っておられました。

また、ある時はデイサービスに通う高齢者の方が職員の方の送迎でお越しになり、雛飾りの前で写真を撮ったり、観光案内のパンフレットを手にとられていました。SNSで知り、職員の方に連れてきてほしいと依頼されたそうで、せっかくだからと何人か行きたい人を募って連れてきたと職員の方が話してくれました。

「岐阜には行けなくても、こういう場所があると(行った気分になるので)いいですね」というお話を聞くと、これからもいろいろな企画を通してここ彩都やまもりから岐阜の魅力を伝えられたらと思いますね。





本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebakko.jp>

ふるさと 岐阜からまぶる



細江マルタさん

他府県から移住し岐阜に暮らす「人」に焦点をあわせた企画、今回は遠くウルグアイから下呂市に移住された細江マルタさんにお話しをお伺いしました。(やまもり通信編集室・以下「や」)

や) マルタさんは南米ウルグアイ出身と伺いましたが岐阜県に来られたいきさつは?

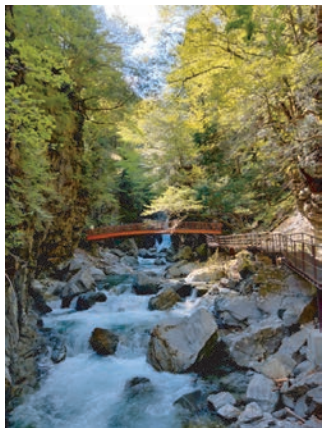
細江) はい。日本から見ると地球の真裏にあたる位置にあるウルグアイの首都モンテビデオ近くの町で生まれ育ちました。大学で建築を学んでいたのですが、ある時旅行で滞在していた一人の日本人と出会い、25歳の時に日本に来て結婚しました。

や) それから?

細江) 名古屋市の工場のラインでエアコンの組み立てなどの仕事をしていましたが、最初の頃は日本語がまったくわからずテレビを見たりして少しずつ日本語を覚えました。岐阜市に5年ほど住んだ後にこの下呂に来て、3人の子育てをしたりして日本に来てからもう30年ほどになります。

や) 今は何をされていますか?

細江) とにかく地域の方とふれあいたくて、



※まめⅡ東濃地方の方言「元気」という意味

加子母の人 山守日記 16 第74回 お酒は好き?

加子母の人は酒豪が多い。山里のコミニケーションにはお酒が出てくる場面が多いなあと思います。昔からそうだったのかしら。御山守内木彦七の『御山方御用井所持日記』にもお酒の記述があるのでご紹介します。

●お酒は必需品

行事や仕事が終わった時のお祝いや来客への饗応、慶事・弔事の贈答品として、お酒は昔から必需品でした。彦七の場合、酒は近所の田丸屋の平七や、酒屋の政助から購入し、日常的に飲んでいたので、粕漬けも作っていたので毎日の暮らしに無くてはならない必需品でした。

●飲酒トラブルも

飲酒がトラブルの原因になることは、今も昔もありました。第12回でもご紹介した岩屋の紋蔵さん。村内でもとりわけ酒癖が悪く、酔っ払って義父の清十と口論を始めては、手がつけれないくらい派手な喧嘩の数々。ご近所さんで止めに入ったりと大変でした。彦七さんが日記に書いたので後世の私たちにまで酒癖が悪いと伝わってしまいましたね。

●女性も

江戸時代の女性もイケる口の方、多かったです。明和二年正月二十四夕方頃、に彦七の妻「かか」が一人で出か

関西発会活動けいじ板

●関西岐阜県人連合会・大阪岐阜県人会 同新年会開催

2023年(令和5年)の大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会の合同新年会が2月7日(火)、大阪市北区梅田のホテルモントレ大阪で開催されました。

県庁をはじめ県下の12の自治体からの代表者、県会議員3人の出席があるなど久しぶりに豪華な顔ぶれが揃いました。

開会挨拶は関西連合会の中島紀子会長、主催者挨拶は大阪県人会の寺岡龍彦会長、来賓代表挨拶は河合孝憲副知事と続き、郡上市の日置敏明市長の岐阜の地酒による乾杯で開宴。

お楽しみ抽選会では出席した自治体が地元自慢の特産品などを景品として提供して会場に花を添えました。また特別賞(ダブルチャンス賞)では岐阜新聞社、十六銀行、野田金属工業からの提供に加え大阪県人会長賞、関西連合会長賞、県知事賞もあり溢れんばかりの豪華な景品の多さに皆さん二度びっくり。

県議会の伊藤秀光議員、野村美穂議員、森益基議員から祝辞、郷土の新聞、岐阜新聞から電子版のお知らせと続き、徳田昭憲会長代行よりNPO法人ぎふ・プロジェクトネットワーク(理事長・岸田哲哉、本部・岐阜市)についての紹介と閉会の挨拶があり、「県人会を取り巻く環境はかなり厳しい。これまでの固定観念にとらわれない新しい取り組みにチャレンジしたい」と今後の抱負を語られ無事閉宴となりました。

景品提供をいただいた自治体と代表者は次の通りです。



けていきました。ところが暫くして、藤吉に連れられて帰ってきたではありませんか。実はその時「かか」は「大酒にて一向性駄なし」つまり「大酒を飲んで泥酔状態」で戻ってきたのです。

その日は村で集まりがあつて、藤吉達はその集まりには酒も出されていたよう夕方から参加した「かか」も酒を振る舞われひどく酔っ払うまで飲んでしまったようです。

昔の女性Ⅱ楚々とした大和撫子ではなく、大らかで力強く逞しい女性たちが多かったんでしょうね。下戸の私はちょっと羨ましく思います。【文責本間】



参考文献：四季折々の暮らしで文化Ⅰ江戸時代の「かきも生活」◎仲泉剛・菅場真仁著 徳川林政史研究所発行

岐阜県河合孝憲副知事、中津川市青山節児市長、郡上市日置敏明市長、山県市林宏優市長、揖斐川町岡部栄一町長、大野町宇佐美晃三町長、垂井町早野博文町長、高山市清水雅博副市長、美濃加茂市佐藤文彦副市長、下呂市田口広宣副市長、土岐市正村彰浩地域振興部長、可児市高井美樹観光経済部長。なお大垣市と池田町より景品のみの提供がありました。

また、祝電をいただいた方々は次のとおりです。

野田聖子衆議院議員、古屋圭司衆議院議員、棚橋泰文衆議院議員、渡辺猛之参議院議員、大野泰正参議院議員、平岩正光岐阜県議員、議員、大垣市・石田仁市長、各務原市・浅野健司市長、多治見市・古川雅典市長、美濃市・武藤鉄弘市長、羽島市・松井聡市長みなさん本当にありがとうございました



上:河合岐阜県副知事 左上:乾杯の様子 左下:お楽しみ会の様子

